



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月4日

上場会社名 株式会社イトーキ 上場取引所 東
 コード番号 7972 URL http://www.itoki.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平井 嘉朗
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 森谷 仁昭 (TEL) 03-6910-3910
 四半期報告書提出予定日 2020年11月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	86,193	△6.5	719	△51.1	738	△51.1	△288	—
2019年12月期第3四半期	92,137	8.2	1,472	18.0	1,510	△3.3	456	△51.8

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △442百万円(—%) 2019年12月期第3四半期 533百万円(△42.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△6.33	—
2019年12月期第3四半期	10.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	103,453	45,175	43.2	981.28
2019年12月期	108,778	45,834	41.7	995.80

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 44,723百万円 2019年12月期 45,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	117,000	△4.2	400	△55.7	250	△73.6	100	—
								2.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) ITOKI China Holding co., LTD 、除外 1社(社名)

(注)詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期3Q	45,664,437株	2019年12月期	45,664,437株
2020年12月期3Q	87,566株	2019年12月期	103,868株
2020年12月期3Q	45,601,762株	2019年12月期3Q	45,631,089株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の自粛などの影響によって、引き続き厳しい状況となりました。個人消費については、政府による給付金の実施や消費喚起策により持ち直しの動きが見られるものの、企業の設備投資については、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する見通しのもと、依然として厳しい状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループにおいては、「働き方変革130」をキャッチフレーズに掲げた3ヶ年の中期経営計画の最終年度として、全社をあげて収益性・生産性・創造性・満足度の向上に継続して取り組んでおります。あわせて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から在宅勤務及び時差出勤の励行など様々な対策を実施しつつ、お客様のご要望には適切にお応えできるよう対応いたしました。

8月には、本社オフィス「ITOKI TOKYO XORK」をWITHコロナ期のオフィスに改装し、ポストコロナ時代を見据えたワークプレイスがどのように進化していくのかなどをテーマに掲げた「IP2021 Prologue」を開催し、積極的な情報提供や提案活動に力を入れました。また、在宅勤務やテレワークの全国的な普及に伴い在宅勤務用チェアなどのBtoC向け製品が好調に推移いたしました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う営業活動の縮小や一部業務の中断、オフィスおよび設備機器関連事業における保有商談の延期・中止が相次ぐなど、依然として厳しい状況となりました。

この結果、売上高は861億93百万円(前年同期比6.5%減)、営業利益は7億19百万円(前年同期比51.1%減)、経常利益は7億38百万円(前年同期比51.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億88百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益4億56百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称		2019年第3四半期	2020年第3四半期	増減額
オフィス関連事業	売上高	49,470	48,826	△643
	営業利益	1,414	195	△1,219
設備機器関連事業	売上高	40,735	35,412	△5,323
	営業利益	346	435	89
その他事業	売上高	1,932	1,953	21
	営業利益 又は営業損失 (△)	△288	88	377
合計	売上高	92,137	86,193	△5,944
	営業利益	1,472	719	△752

[オフィス関連事業]

オフィス関連事業につきましては、第1四半期は首都圏を中心とした大都市部での大型の新築・移転案件に対し、「ITOKI TOKYO XORK」をワーキングショールームとして活用した積極的な提案営業や需要期における物流支援体制の強化が奏功したほか、中国における営業体制の合理化などの効果もあり収益を大きく伸ばしました。しかし、第2四半期から第3四半期にかけて、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国内・海外ともに営業活動の縮小を余儀なくされたほか、一部業務の中断や保有していた商談の延期・中止が発生しました。

その結果、業績につきましては、売上高488億26百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益1億95百万円(前年同期比86.2%減)となりました。

[設備機器関連事業]

設備機器関連事業につきましては、第1四半期は国内オフィス市場の好調に牽引されて内装工事・パーティションの需要が伸長しました。しかし、第2四半期から第3四半期にかけて、オフィス関連事業と同様に国内の物流施設やセキュリティ設備などの大型商談に延期、中止が発生しました。

その結果、業績につきましては、売上高354億12百万円(前年同期比13.1%減)、営業利益4億35百万円(前年同期比25.8%増)となりました。

[その他]

その他事業につきましては、パーソナル事業において、昨年から行ってきた販売チャネルの見直しや中国における仕入先の操業停止等による逸失利益の影響があったものの、第2四半期以降は新型コロナウイルス感染症の拡大防止策の一環として全国的に在宅勤務やテレワークが増加していることを受けて、在宅勤務用チェアのラインアップを強化したことにより、コンシューマ向け大手通販サイトや自社運営のECサイトにおける販売台数が大幅に増加しました。

その結果、業績につきましては、売上高19億53百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益88百万円(前年同期は2億88百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて53億25百万円減少し、1,034億53百万円となりました。これは主に、現金及び預金が19億25百万円増加し、受取手形及び売掛金が79億45百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて46億67百万円減少し、582億77百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が33億20百万円、電子記録債務が21億67百万円、短期借入金が3億60百万円減少し、長期借入金が25億1百万円増加したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて6億58百万円減少し、451億75百万円となりました。これは主に、資本剰余金が4億40百万円増加、利益剰余金が9億77百万円減少、その他有価証券評価差額金が1億31百万円減少したことによるものです。また、自己資本比率は前連結会計年度末から1.5ポイント増加し43.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2020年8月31日の「2020年12月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,030	18,956
受取手形及び売掛金	28,244	20,298
電子記録債権	1,673	2,078
商品及び製品	4,789	4,854
仕掛品	2,313	2,519
原材料及び貯蔵品	2,350	2,651
その他	2,294	1,691
貸倒引当金	△587	△587
流動資産合計	58,109	52,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,566	11,193
土地	9,613	9,888
その他（純額）	6,600	6,247
有形固定資産合計	27,781	27,329
無形固定資産		
のれん	2,413	2,189
その他	2,531	3,664
無形固定資産合計	4,945	5,853
投資その他の資産		
投資有価証券	6,974	6,828
繰延税金資産	1,051	1,063
退職給付に係る資産	1,475	1,526
その他	8,203	8,283
貸倒引当金	△474	△474
投資その他の資産合計	17,229	17,227
固定資産合計	49,955	50,410
繰延資産		
開業費	713	579
繰延資産合計	713	579
資産合計	108,778	103,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,368	10,048
電子記録債務	7,636	5,469
1年内償還予定の社債	40	40
短期借入金	12,769	12,409
1年内返済予定の長期借入金	2,011	1,790
未払法人税等	816	588
未払消費税等	774	665
設備関係支払手形	285	208
賞与引当金	1,589	1,695
受注損失引当金	21	0
製品保証引当金	99	103
その他	8,147	7,178
流動負債合計	47,559	40,198
固定負債		
社債	140	120
長期借入金	4,434	6,936
リース債務	2,059	2,397
繰延税金負債	400	456
退職給付に係る負債	3,881	4,020
役員退職慰労引当金	92	95
製品自主回収関連損失引当金	90	90
製品保証引当金	41	—
その他	4,244	3,960
固定負債合計	15,385	18,079
負債合計	62,944	58,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,294	5,294
資本剰余金	9,201	9,641
利益剰余金	29,862	28,884
自己株式	△46	△33
株主資本合計	44,311	43,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,260	1,128
為替換算調整勘定	△83	△108
退職給付に係る調整累計額	△118	△83
その他の包括利益累計額合計	1,057	936
新株予約権	—	45
非支配株主持分	464	407
純資産合計	45,834	45,175
負債純資産合計	108,778	103,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	92,137	86,193
売上原価	60,590	55,285
売上総利益	31,547	30,907
販売費及び一般管理費	30,075	30,188
営業利益	1,472	719
営業外収益		
受取利息	14	7
受取配当金	87	83
受取賃貸料	139	136
受取保険金	11	19
その他	251	321
営業外収益合計	505	567
営業外費用		
支払利息	173	178
賃貸建物等減価償却費	38	27
開業費償却	133	133
その他	120	208
営業外費用合計	467	548
経常利益	1,510	738
特別利益		
投資有価証券売却益	3	2
負ののれん発生益	—	123
その他	4	5
特別利益合計	8	131
特別損失		
固定資産除却損	20	46
投資有価証券評価損	—	146
その他	0	19
特別損失合計	20	213
税金等調整前四半期純利益	1,498	657
法人税、住民税及び事業税	1,251	1,021
法人税等調整額	△147	△43
法人税等合計	1,103	978
四半期純利益又は四半期純損失(△)	394	△321
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△61	△32
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	456	△288

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	394	△321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	286	△131
為替換算調整勘定	△170	△24
退職給付に係る調整額	22	35
その他の包括利益合計	138	△121
四半期包括利益	533	△442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596	△409
非支配株主に係る四半期包括利益	△63	△32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第2四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であるGlobalTreehouse(株)の株主割当増資に伴い、GlobalTreehouse(株)の累積損失のうち、当社が負担していた非支配株主の負担すべき額を超える部分の一部を、非支配株主持分からその他資本剰余金に振り替えております。これにより資本剰余金が441百万円増加しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、ITOKI China Holding co., Ltdを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、ITOKI China Holding co., Ltdは当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	オフィス 関連事業	設備機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	49,470	40,735	90,205	1,932	92,137	—	92,137
セグメント間の内部 売上高又は振替高	146	546	692	7	700	△700	—
計	49,616	41,282	90,898	1,939	92,838	△700	92,137
セグメント利益 又は損失 (△)	1,414	346	1,760	△288	1,472	—	1,472

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用家具事業及び保守サービス事業並びにソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	オフィス 関連事業	設備機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	48,826	35,412	84,239	1,953	86,193	—	86,193
セグメント間の内部 売上高又は振替高	133	355	488	21	510	△510	—
計	48,959	35,768	84,727	1,975	86,703	△510	86,193
セグメント利益	195	435	630	88	719	—	719

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用家具事業及び保守サービス事業並びにソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大に関して今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況ではありますが、当社では現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、2020年12月期第3四半期以降徐々に感染拡大の影響が収束に向かうと想定し、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。